

令和 2 年度

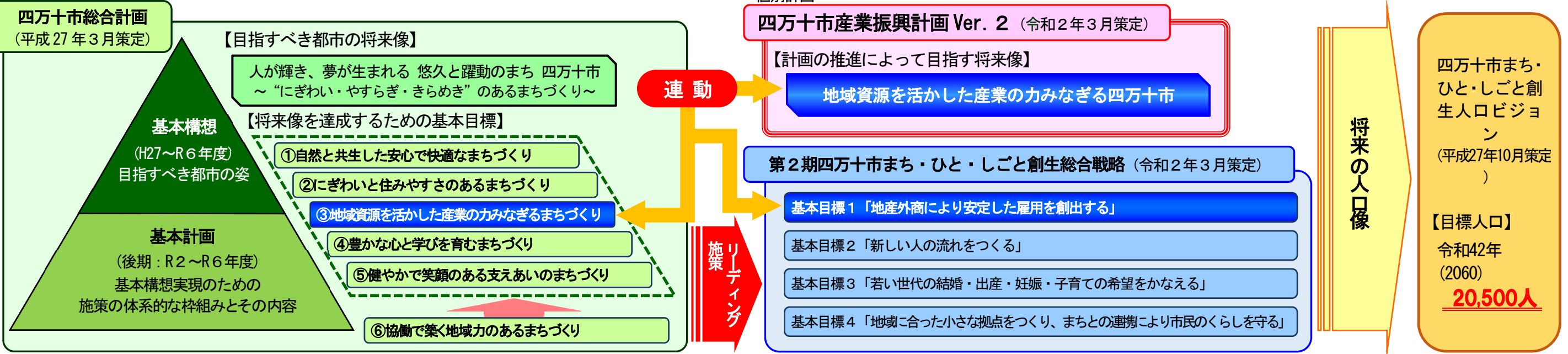
第 1 回四万十市産業振興計画フォローアップ委員会



- 1 計画の位置づけと進行管理
- 2 四万十市の産業状況等
- 3 産業分野別の動き
- 4 令和 2 年度上半期の各産業分野の動き
- 5 KPI の追加等について

1 産業振興計画の位置づけと進行管理

1 計画の位置づけ



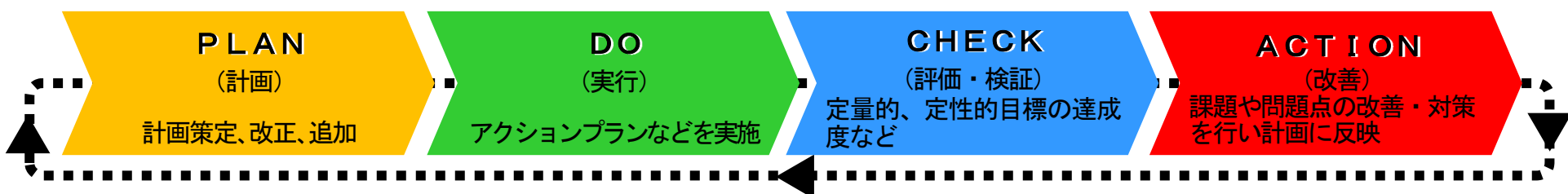
計画期間	計画年度		H27~H31	R2~R6	R7~R11	R12~R16	~R42
	総合計画	基本構想	[進捗状況]					
	基本計画	前期	後期					
産業振興計画	全体計画	[進捗状況]						
	アクションプラン等	Ver. 1	Ver. 2					
	まち・ひと・しごと創生総合戦略	第1期	第2期					
	まち・ひと・しごと創生人口ビジョン	[進捗状況]						

【推進体制】

- 産業振興計画
 - ・四万十市産業振興計画検討チーム (第2副市長、チーム員20名)
 - ・四万十市産業振興計画フォローアップ委員会 (委員26名)
- まち・ひと・しごと創生総合戦略
 - ・四万十市まち・ひと・しごと創生推進本部 (市長、第1副市長、本部員27名)
 - ・四万十市まち・ひと・しごと創生会議 (委員13名)

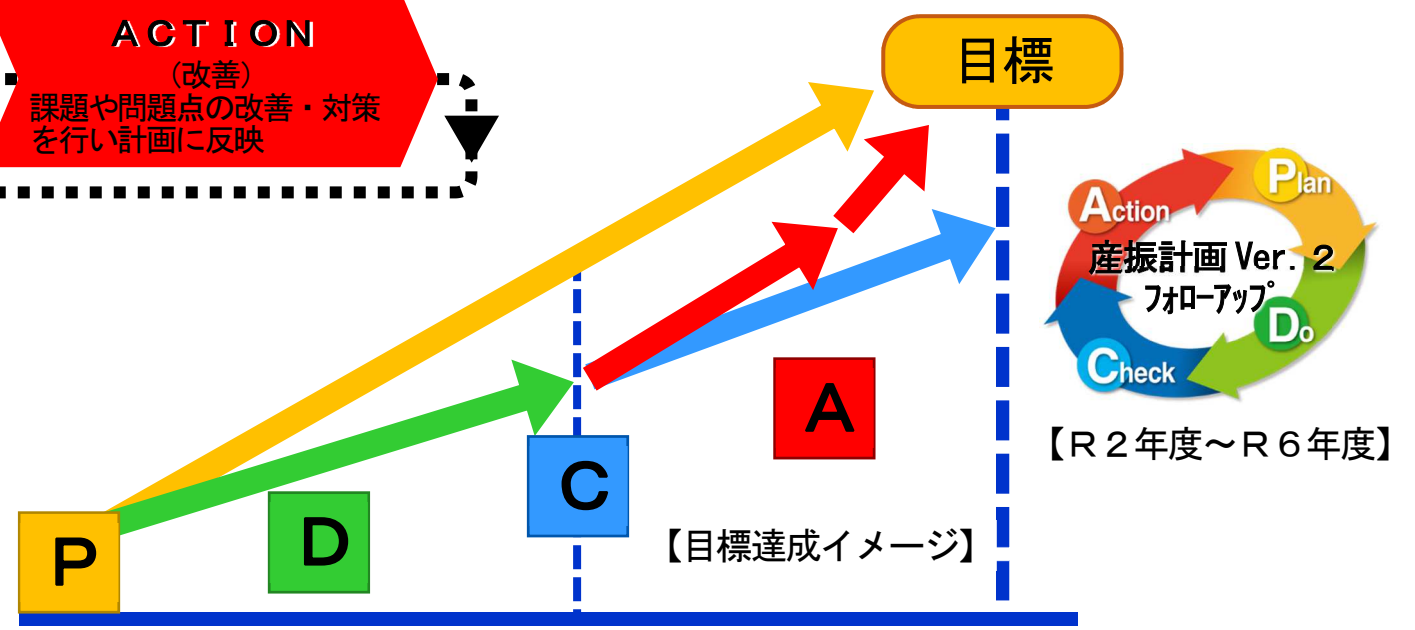
2 計画の進行管理

【PDCAサイクル】



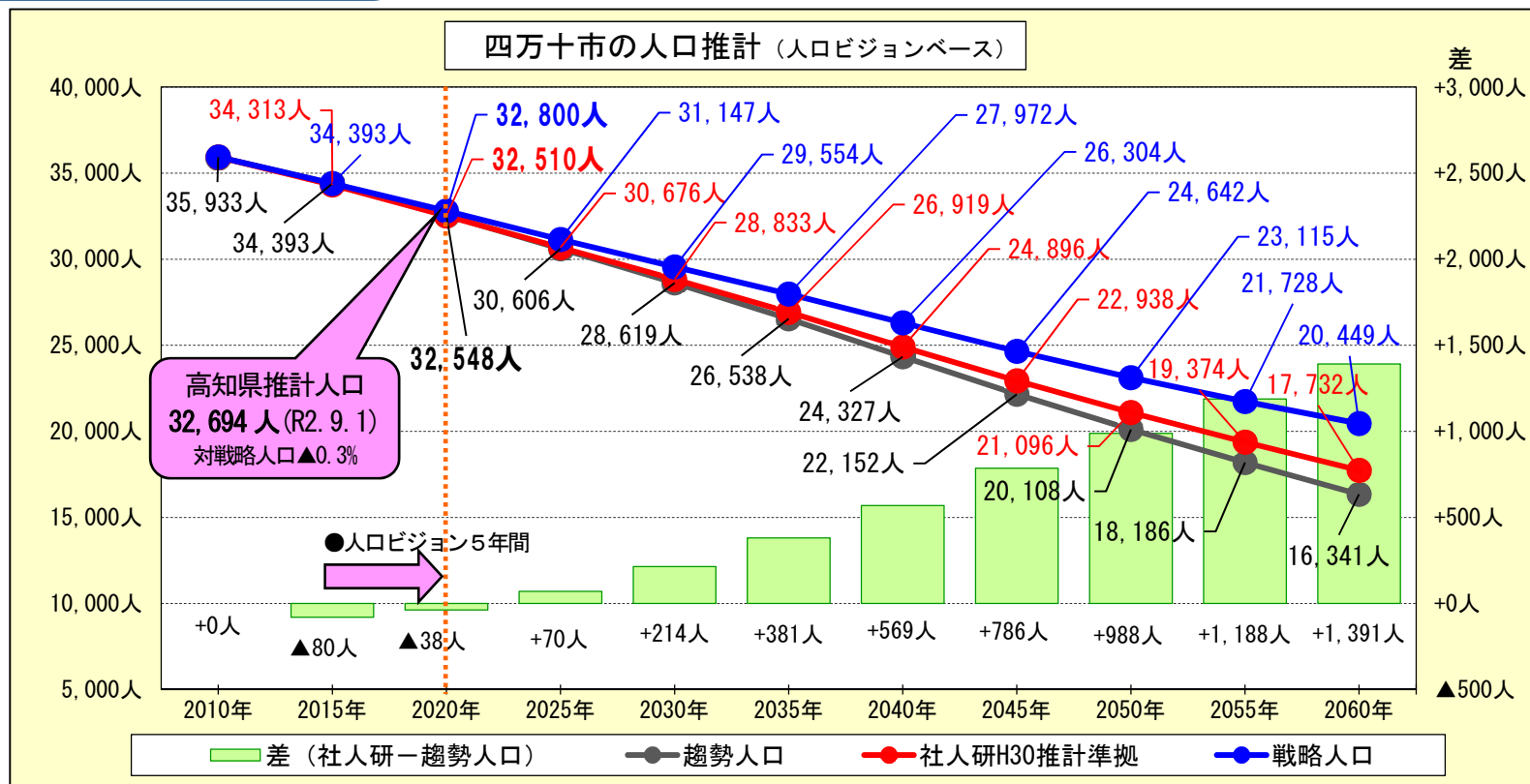
【フォローアップスケジュール】

10月	上旬 産業振興計画検討チーム まち・ひと・しごと創生推進本部会議	2月	下旬 産業振興計画検討チーム まち・ひと・しごと創生推進本部会議
	下旬 産業振興計画フォローアップ委員会 まち・ひと・しごと創生会議	3月	下旬 産業振興計画フォローアップ委員会 まち・ひと・しごと創生会議

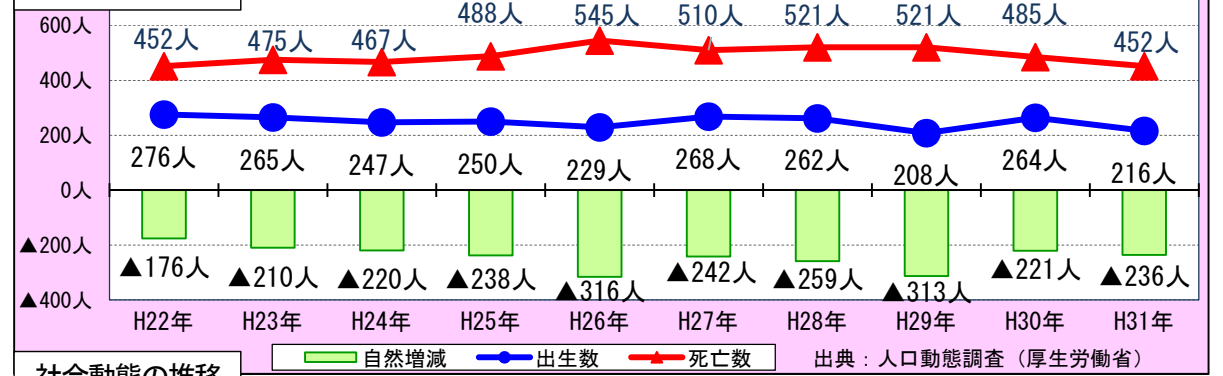


2 四万十市の産業状況等①

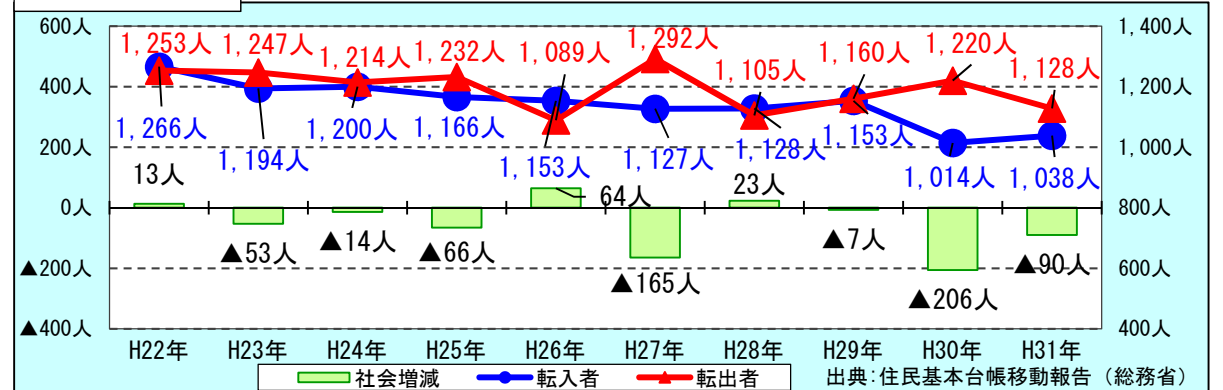
1 四万十市の人口



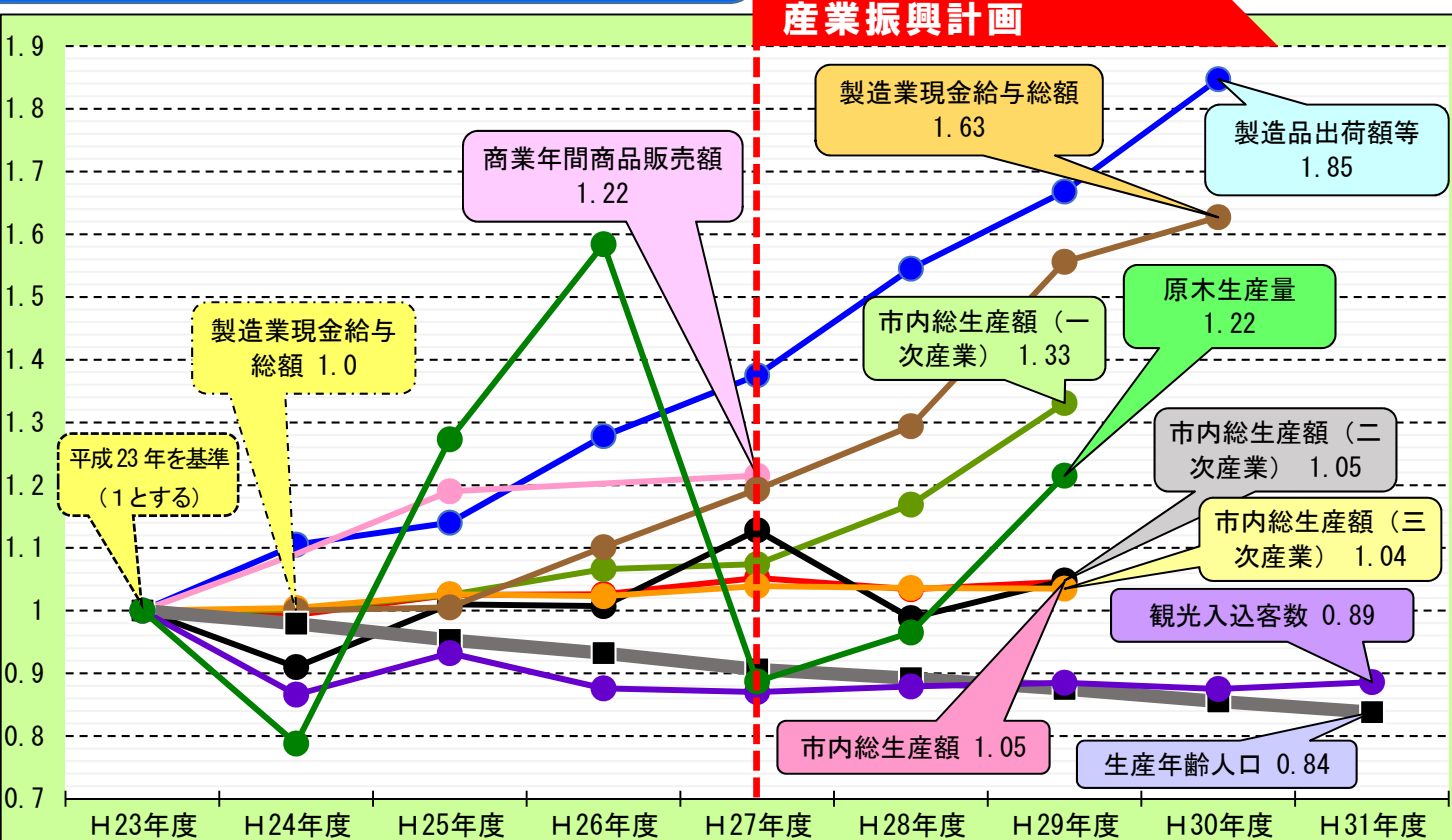
自然動態の推移



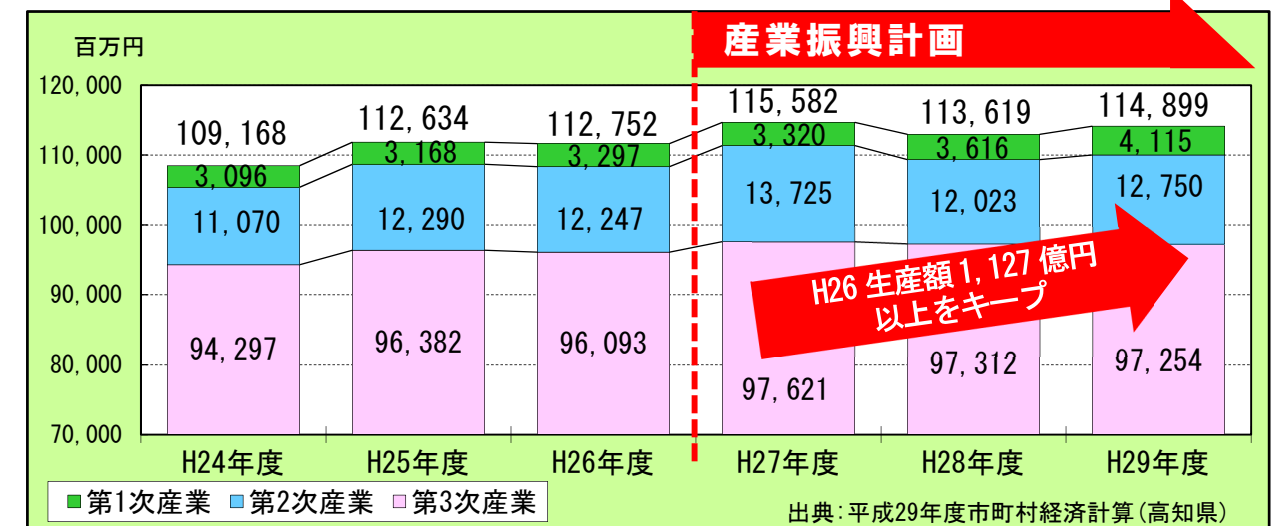
社会動態の推移



2 四万十市の生産・販売・出荷額の状況



3 市内総生産額

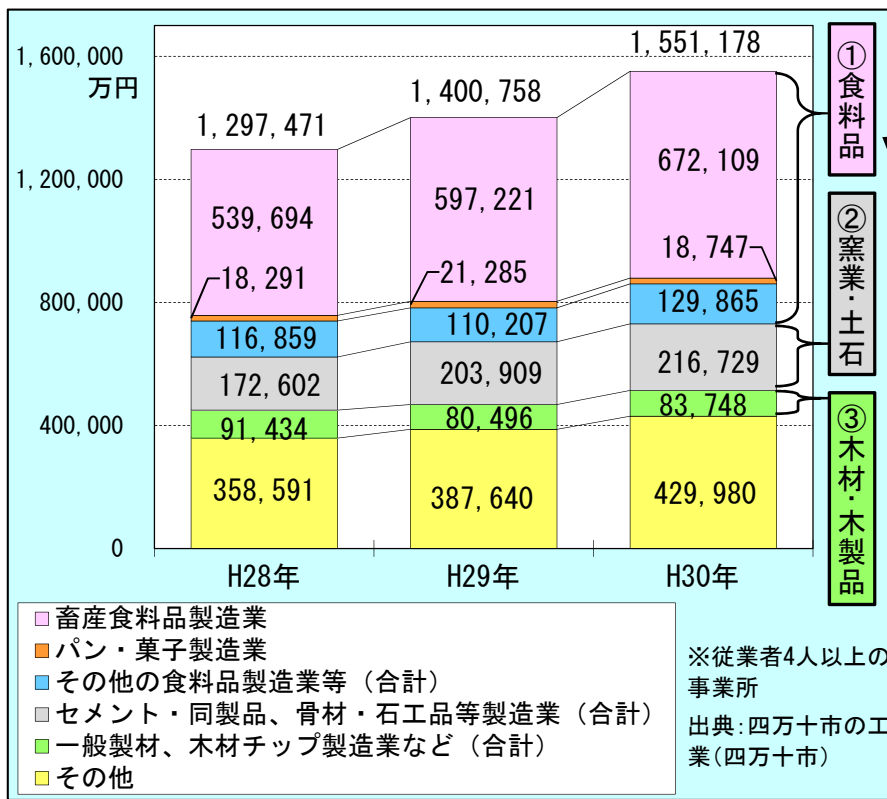


	平成28年度	平成29年度
県内総生産額	2兆4,105億円 (+1.3%)	2兆4,295億円 (+0.7%)
総生産額が1,000億円を超える市町村	①高知市 1兆2,065億円 (+2.3%) (※県内総生産の50.1%) ②南国市 1,979億円 (▲2.9%) ③四万十市 1,136億円 (▲1.7%)	①高知市 1兆2,027億円 (▲0.3%) (※県内総生産の49.4%) ②南国市 1,938億円 (▲2.1%) ③四万十市 1,149億円 (+1.1%)

※カッコ内の数値は前年比

2 四万十市の産業状況等②

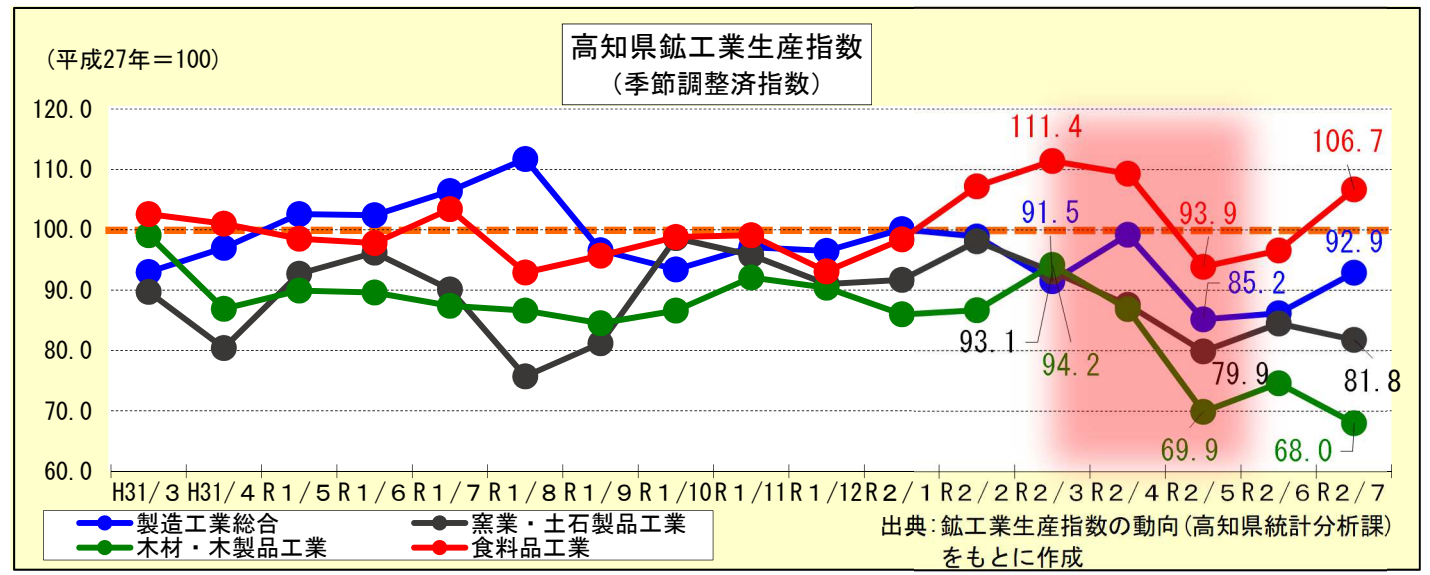
4 四万十市製造品出荷額等上位3区分（中分類）



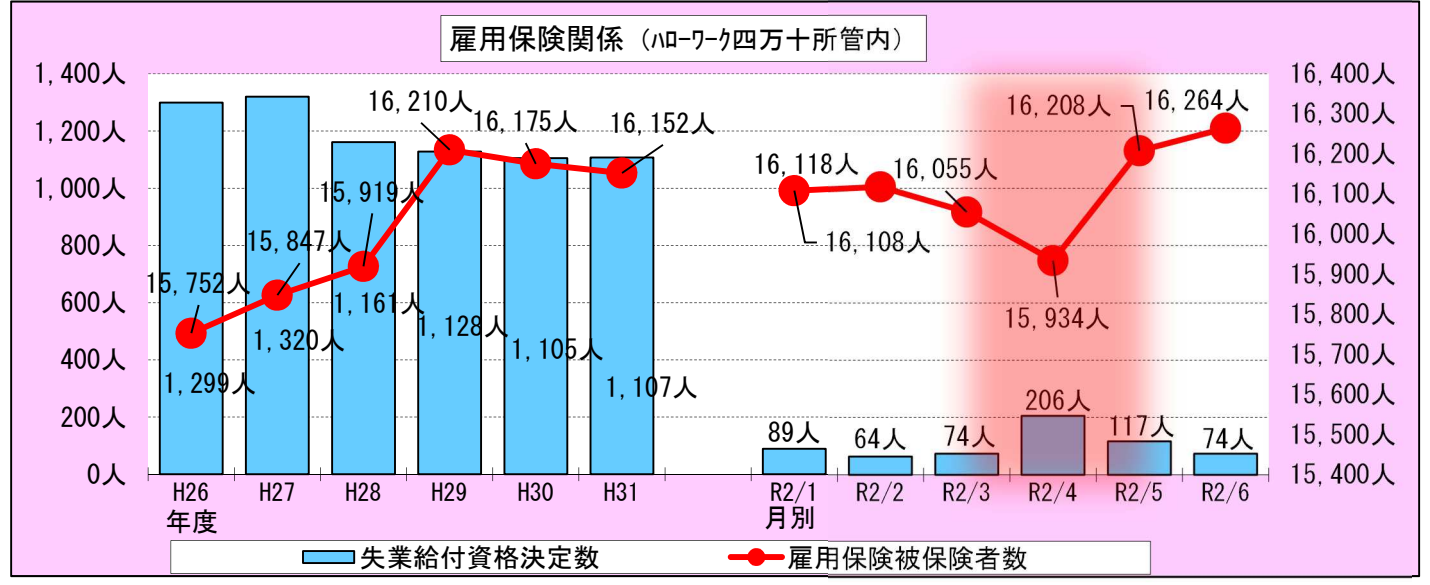
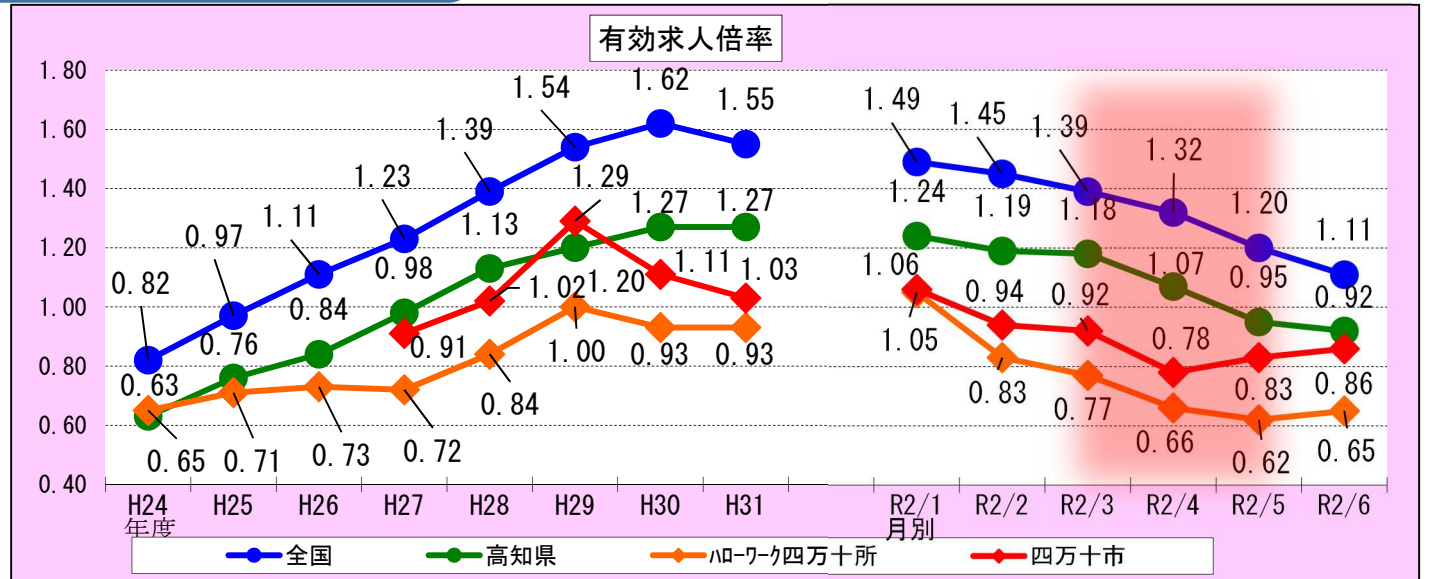
産業分類（中・小）	H28年	H29年	H30年	H30の全体に占める割合	中分類に占める割合
09食品製造業	674,844 (21)	728,713 (24)	820,721 (22)	52.9%	
091畜産食品製造業	539,694 (4)	597,221 (6)	672,109 (6)	43.3%	81.9%
092水産食品製造業	X (3)	X (3)	83,118 (3)	5.4%	10.1%
093野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食品製造業	— (—)	X (1)	X (1)		
094調味料製造業	X (2)	14,570 (4)	X (2)		
097パン・菓子製造業	18,291 (6)	21,285 (6)	18,747 (5)	1.2%	2.3%
099その他の食品製造業	35,523 (6)	26,041 (4)	33,301 (5)	2.1%	4.1%
21窯業・土石製品製造業	172,602 (5)	203,909 (5)	216,729 (5)	14.0%	
212セメント・同製品製造業	X (3)	X (3)	X (3)		
218骨材・石工品等製造業	X (2)	X (2)	X (2)		
12木材・木製品製造業	91,434 (5)	80,496 (4)	83,748 (4)	5.4%	
121製材業、木製品製造業	91,434 (5)	80,496 (4)	83,748 (4)	5.4%	100.0%
その他	358,591 (18)	387,640 (20)	429,980 (18)	27.7%	
合計	1,297,471 (49)	1,400,758 (53)	1,551,178 (49)	100.0%	

※カッコ内の数値は事業所数
 ※記号の「—」は該当数値無し、「X」は秘匿とするもの

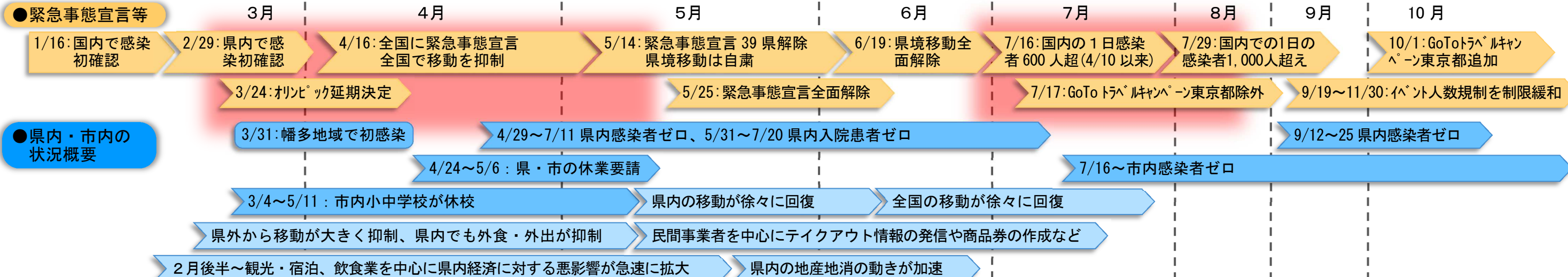
5 鉱工業統計指数



6 有効求人倍率等



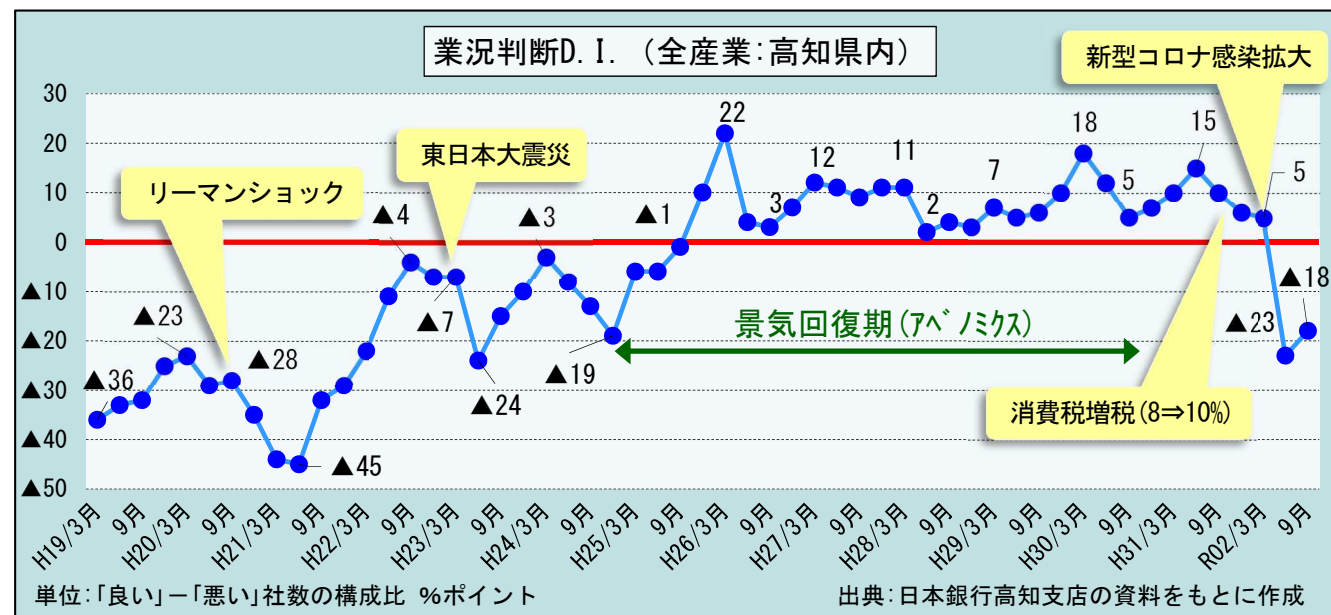
2 四万十市の産業状況等③【新型コロナウイルス関連の主な動き】



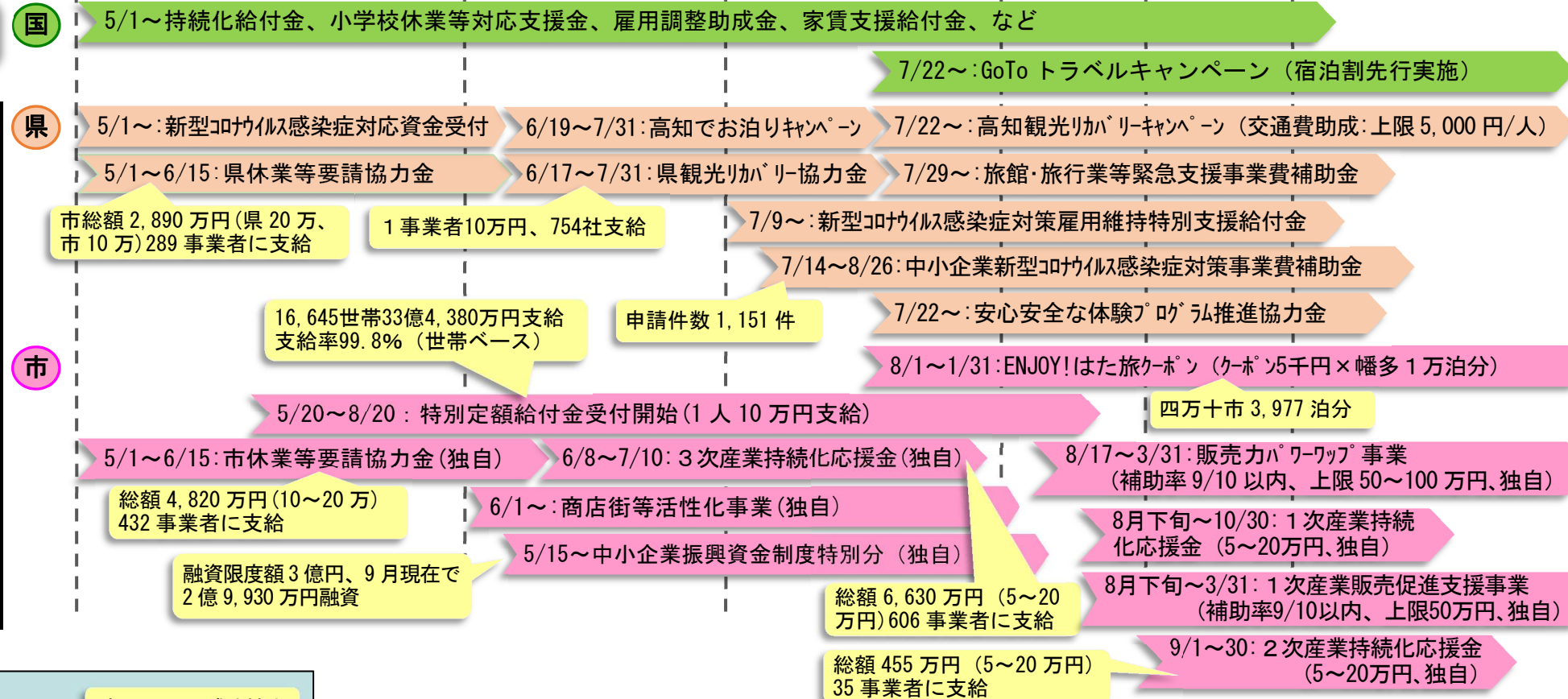
●県内の経済概況 (前年同月比)

	R2/2	R2/3	R2/4	R2/5	R2/6	R2/7
百貨店・スーパー販売額	+3.8%	▲6.3%	▲14.8%	▲6.8%	+1.6%	+1.7%
コンビニエンスストア販売額	+5.2%	▲4.9%	▲11.3%	▲10.1%	▲2.7%	▲4.0%
家電大型専門店販売額	+12.7%	▲5.5%	▲6.3%	+22.4%	+39.9%	+5.8%
ドラッグストア販売額	+17.1%	+12.6%	+16.0%	+12.7%	+13.1%	+7.8%
新車登録・届出台数	▲14.7%	▲2.0%	▲35.9%	▲56.0%	▲14.8%	▲14.0%
主要観光施設入込客数	+14.3%	▲48.1%	▲89.5%	▲89.7%	▲50.1%	▲24.9%
有料道路利用実績	+2.7%	▲16.4%	▲37.2%	▲42.3%	▲14.9%	▲11.9%

出典:高知県の経済概況から抜粋



●支援策等 (主なもの)



●市内の第3次産業の売上への影響

市事業持続化応援金(3次産業)申請ベース

- 申請期間: R2.6.8~7.10
- 交付件数: 606件
- 支給額: 6,630万円
- 売上への影響(3月~5月の前年対比。3割以上減少の事業者が対象。)

▲29億550万円(▲44.76%)

●ENJOY!はた旅クーポン(8月実績)

- 配付枚数(1枚500円、10万枚発行)
- 幡多地域 23,456枚 11,728千円(全体の23.5%)
- 四万十市 9,527枚 4,763.5千円**
- (幡多8月分の40.6%)
- 四万十市の内訳(主なもの)
- 飲食店 2,193.5千円(46.0%)
- お土産 1,328.5千円(27.9%)
- 観光体験等 496千円(10.4%)

2 四万十市の産業状況等④【新型コロナウイルス関連】

四万十市における新型コロナウイルス感染症対策の概要

総事業費
47億7,300万円
 (9月補正時点 45億8,100万円)
〔うち臨時交付金〕
9億7,000千円
 (9月補正時点 9億3,400万円)

Ⅳ 強靱な経済構造の構築・・・新しい生活様式に対応した環境の整備 事業費4億4,819万円〔臨時交付金 3億7,867万円〕

- ・“GIGAスクール構想”の加速化
 児童生徒一人1台端末整備
- ・高度無線環境整備
 光ファイバー網整備
- ・契約管理等システム導入
- ・庁舎web会議環境整備
- ・庁舎分散勤務用執務室整備
- ・まちバスキャッシュレス端末整備

Ⅲ 経済活動の回復・・・街の賑わい、地域経済の再活性化 事業費3億4,115万円〔臨時交付金 3億4,115万円〕

- ・事業持続化応援金（第1次～3次産業）
- ・商店街等活性化事業
- ・四万十市中小企業振興資金
- ・販売促進事業
- 新** 旅行キャンペーン
 “泊まって使えるクーポン”

Ⅱ 雇用の維持と事業の継続・・・暮らしを支え、雇用・事業を守る 事業費36億7,593万円〔臨時交付金 1億7,726万円〕

- ・特別定額給付金
- ・子育て世帯臨時特別給付金
- ・ひとり親家庭支援給付金
- ・子育て世帯応援給付金（市単）
- ・妊婦特別給付金（市単）
- ・住居確保給付金
- ・自立相談支援体制強化
- ・休業等協力金
- 新** 鉄道運行支援
- ・放課後等学習支援
- ・スクールサポートスタッフ配置
- 新** 修学旅行キャンセル料支援
- ・学校臨時休業対策（給食食材納入事業者支援）
- 新** 保育所保育料、給食費の減免
- ・国民健康保険等被用者への傷病手当支給
- ・国民健康保険料、介護保険料等の減免
- ・固定資産税の減免
- ・地方税等の徴収猶予

Ⅰ 感染拡大の防止・・・市民の命と健康を守る 事業費3億806万円〔うち臨時交付金 7,386万円〕

- ・マスク10万枚配布
- ・市民啓発、広報活動
- 拡** 公共施設等感染防止対策
- ・保育所等感染防止対策
- 拡** 子ども・子育て支援等感染防止対策
- ・小中学校感染防止等対策
- ・中学校空調設備整備
- 新** 小中学校トイレ洋式化
- ・西中学校統合改修（トイレ・空調）
- ・避難所感染防止対策
- ・市民病院、診療所感染防止対策
- ・と畜場空調設備整備
- 新** 医療従事者等への慰労金給付
- ・市民病院医療従事者への特殊勤務手当

- ・前払いチケット販売（つながる KOCHI プロジェクト、1万円券・5千円券）
- ・商店街応援商品券（市商店街振興組合連合会）
 6商店街共通、6商店街飲食店限定、栄町商店街限定（2,400セット、1万円で1万1千円分）
- ・プレミアム付き商品券（西土佐商工会）
 500セット、1万円で1万2千円分

経済活動の回復（観光分野）

GoToトラベルキャンペーン
 旅行代金の最大5割補助
 宿泊：上限2万円/泊・人
 日帰り：上限1万円/人

四万十クーポン券発行
 12/1～5千円/泊

GoToイート
 11/2～食事券発売（+25%）
 500円×1,250万枚
 10/1～ネット予約でポイント付加
 （最大1,000円分）

GoToトラベル
 10/1 地域共通クーポン券
 国内旅行代15%

GoToトラベル
 10/1 東京追加
 (9/18 東京発旅行販売開始)

県観光リハビリキャンペーン
 7/22 交通費助成
 上限5,000円/人

ENJOY はた旅クーポン
 8/1～1/31 クーポン5千円
 ×幅多1万泊分

GoToトラベル
 7/22 割引先行実施
 国内旅行代35%

高知でお泊りキャンペーン
 6/19～7/31（中四国）
 割引3,000円/組

高知でお泊りキャンペーン
 7/10～8/31（全国）
 最大20,000円/人

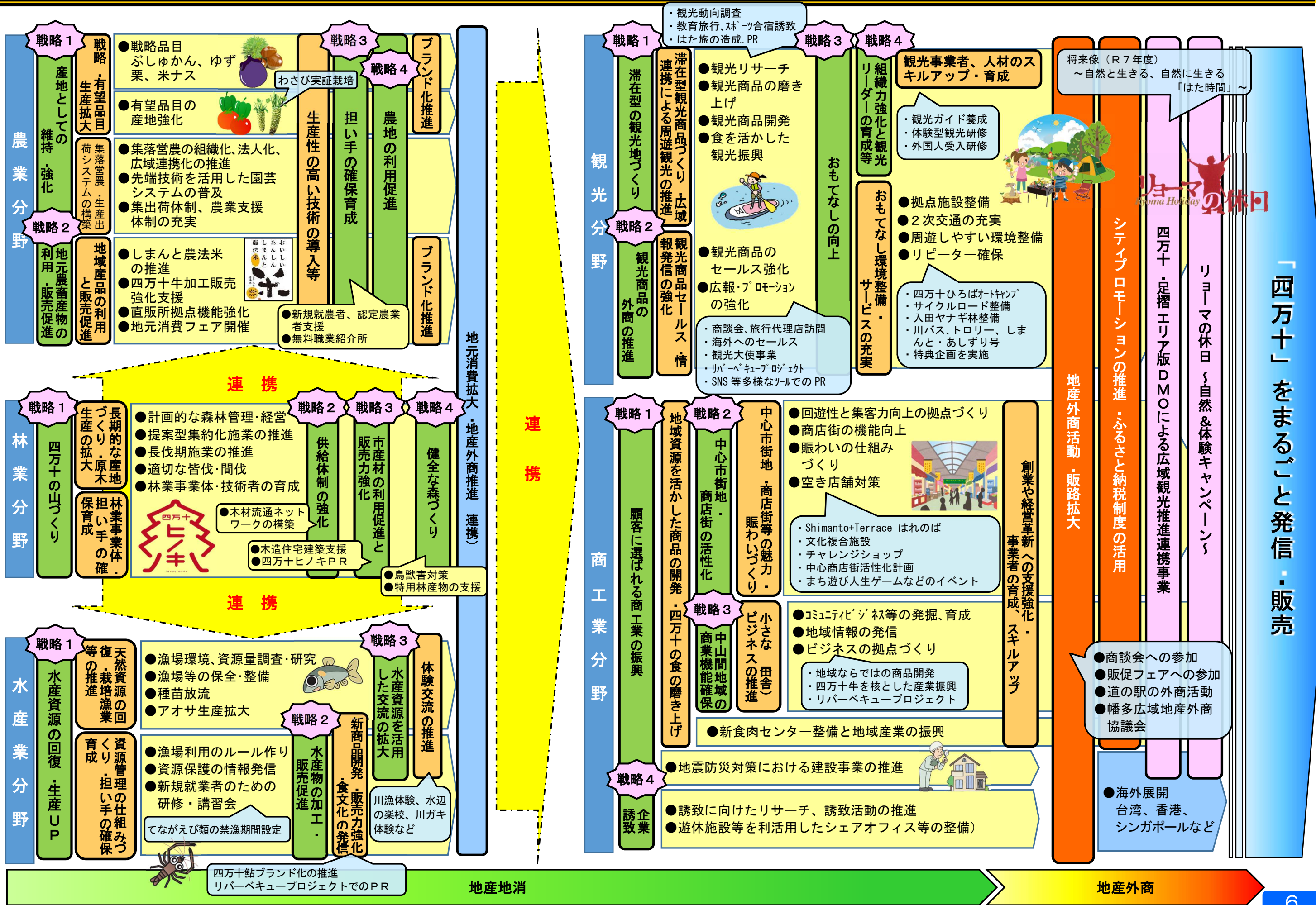
地産地消の取り組み
 テイクアウト情報発信、商品券発行、各種
 キャンペーンの実施

※市財政課作成

新 は9月補正で新規追加

拡 は9月補正で事業拡充

3 産業分野別の動き（産業振興計画 Ver.2 の主なもの）



4 令和2年度上半期の各産業分野の動き①（主なもの）

分野 令和2年度上半期

農業分野

- 産地としての維持・強化【P. 6】
 - ぶしゅかんの産地化づくり【農 AP 1】
 - ぶしゅかん産地化推進事委託【地方創生推進交付金】
 - 生産者への栽培指導、苗木供給体制の構築、販促活動など
 - 栗の産地再生【農 AP 3】
 - 栗暮プロジェクト【地方創生推進交付金】
 - 西土佐橋地区実証農園運営、水田を栗園に転換（0.7ha）
 - 米ナスの振興【農 AP 4】
 - PRポスター作成、米ナススタンプラリー、新メニュー開発セミナー（西土佐地域産業振興推進協議会）
 - 有望品目の産地強化【農 AP 5】
 - わさび実証実験の継続、ショウガ栽培実証栽培（西土佐農業公社）、レンタルハウス整備事業
 - 先端技術を活用した園芸施設や園芸システム等の普及促進【農 AP 8】
 - 次世代園芸ハウス事業化に向け協議を実施
 - 地域内農業者の共同生産体制の構築【農 AP 13】
 - 西土佐地域で米ナスの共同選果へ向けた取り組み開始
- 地元農畜産物の利用・販売促進【P. 8】
 - 直販機能の強化【農 AP 15】：JAグリーン移転工事着工（9月）
 - ブランド化の推進【農 AP 16】
 - しまんと農法米の生産拡大、具同小学校でのしまんと農法米の授業等
 - 西土佐地域産業振興推進協議会や「ハバ」へのプロジェクトでの米ナスや四万十牛のPR、モニターへの計画など
- 担い手の確保・育成【P. 9】
 新規就農者、認定農業者、集落営農組織への支援やフォローアップを継続
- 農地の利用促進【P. 10】
 圃場整備、中山間地域等直接支払、多面的機能支払、水田を栗園に転換を継続

わさび実証実験ハウス

米ナス PR

四万十牛 PR

林業分野

- 四万十の山づくり【P. 11】
 - 長期視点に立った産地づくり【林 AP 1～3】
 - 提案型集約化施業の推進を継続
 - 森林経営管理制度の運営（森林環境譲与税）
 - 森林所有者意向調査、境界の明確化の実施
 - 林業事業体及び林業技術者の育成支援【林 AP 9】
 - 緑の雇用事業活用（R2新規4名）
 - 林業担い手育成支援事業（森林環境譲与税）
 - 新規就業者を雇用する事業体を支援
- 供給体制の強化【P. 13】
 - 木材流通ネットワークの構築【林 AP 13】
 - 幡多流域林業活性化センターでの連携を継続
- 市産材の利用促進と販売力の強化【P. 13】
 - 木造住宅建築促進【林 AP 14】
 - 市産材利用促進事業の継続
 - 四万十ヒノキブランドの確立【林 AP 18】
 - 四万十ヒノキ強度測定による品質の強みをPR（四万十ヒノキブランド化協議会と連携）
- 健全な森づくり【P. 14】
 - 鳥獣被害対策【林 AP 21】
 - 有害鳥獣捕獲支援、防護ネット設置支援、新規狩猟者の受講料支援の継続

四万十ヒノキ PR パンフ

四万十ヒノキ丸太の強度性能試験

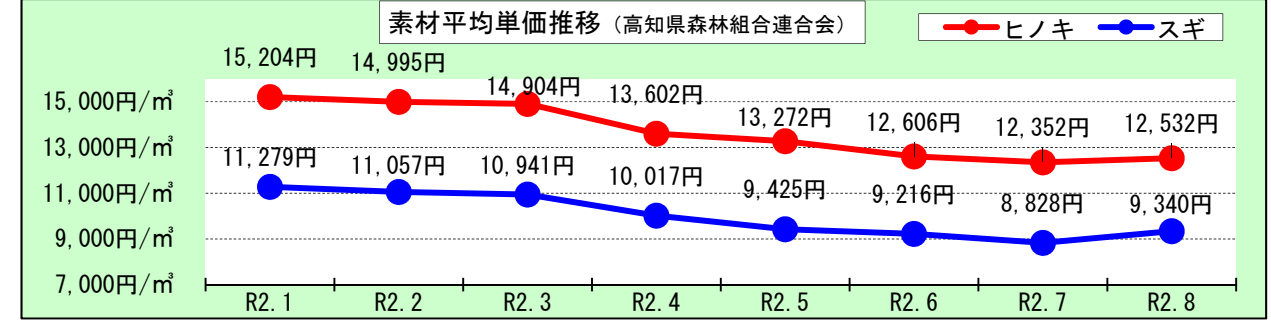
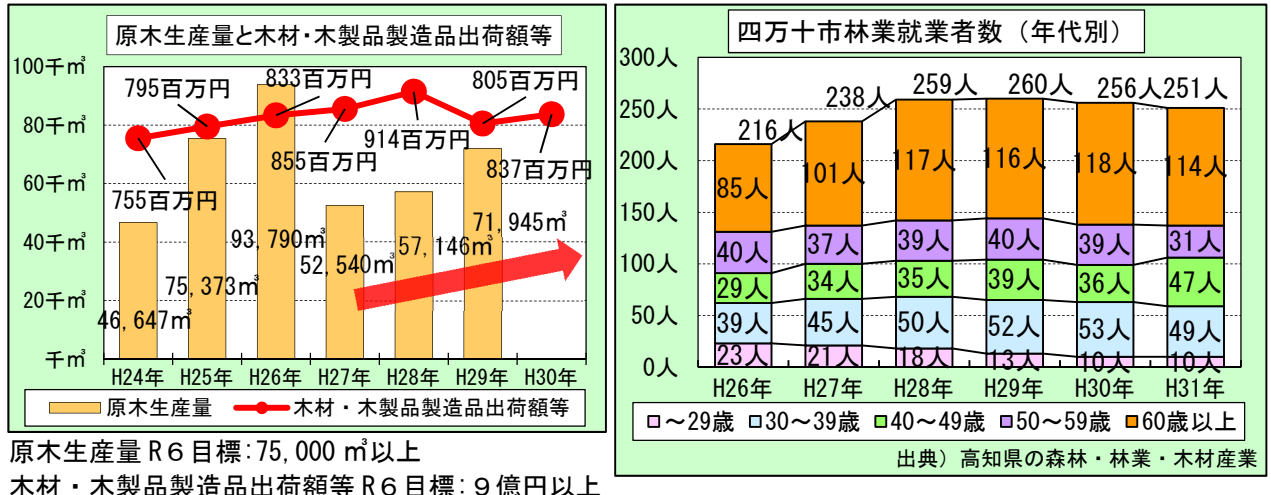
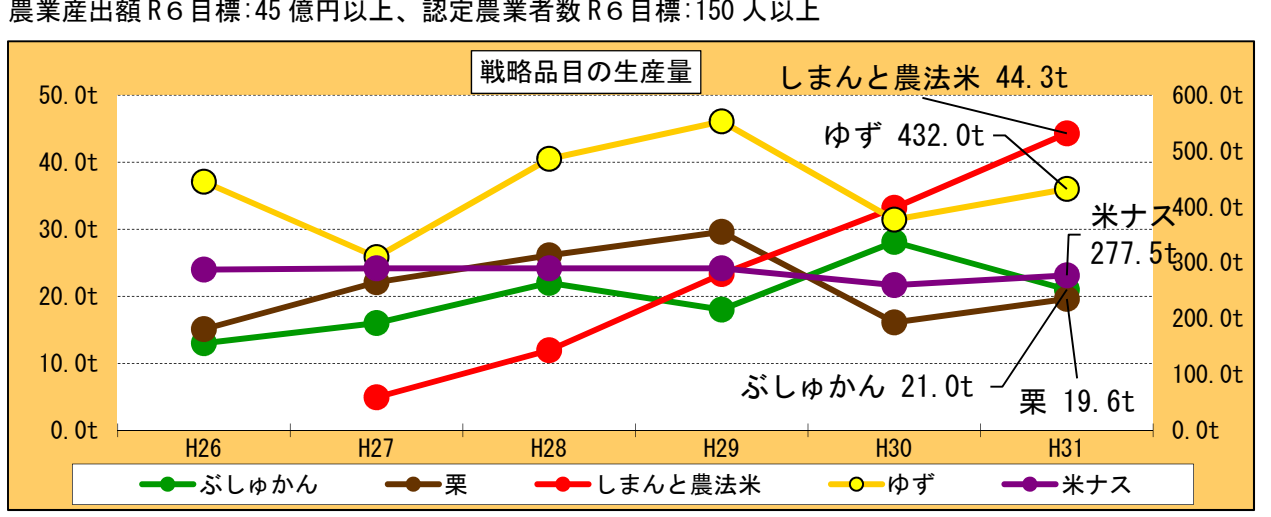
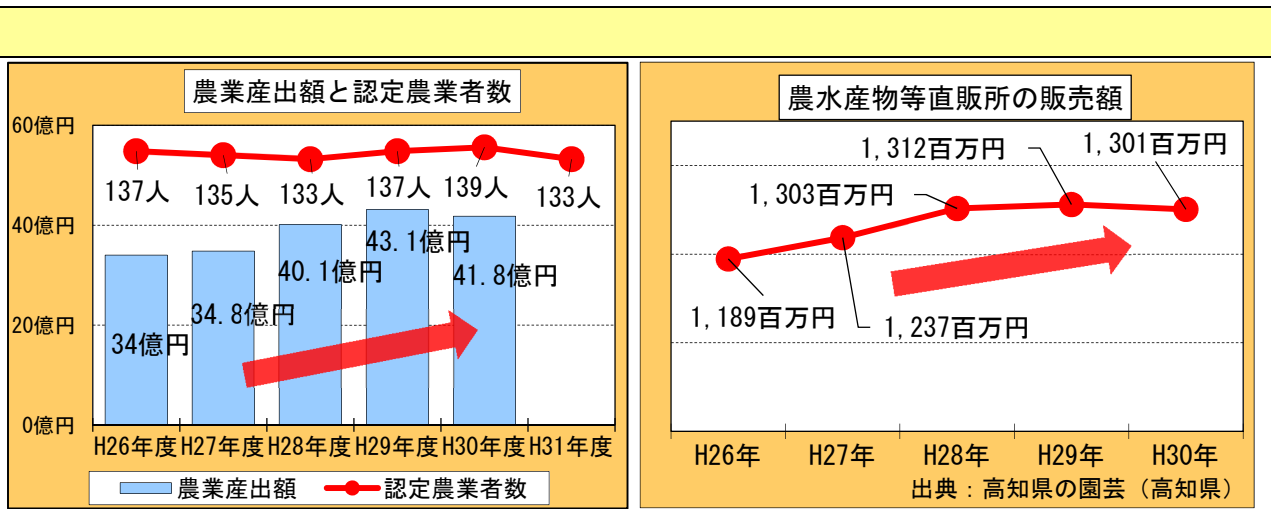
丸太強度等級区分 (JAS固有振動ヤング係数区分)	ヒノキ丸太 (径級15~16)	ヒノキ丸太 (径級18~20)
E50	0.0	0.0
E70	0.0	16
E90	23	51
E110	46	46
E130	30	28
E150	3	3

四万十ヒノキ柱の強度性能試験

製材(柱) 強度等級区分 (JAS機械等級区分)	四万十ヒノキ	全国ヒノキ
E50	3	0.0
E70	27	7.5
E90	53	16
E110	46.5	38.0
E130	16	8.0
E150	1	0.0

■ 基本統計量 (四万十ヒノキ)
 データ数 200本
 平均値 11.7kN/m²
 変動係数 11.0%
 5%下限値 9.5kN/m²
 資料: 高知県立森林技術センター(2019)

■ 基本統計量 (全国ヒノキ)
 データ数 899本
 平均値 10.5kN/m²
 変動係数 13.3%
 5%下限値 8.1kN/m²
 資料: 木構造振興株式会社(2011)



4 令和2年度上半期の各産業分野の動き②（主なもの）

分野	令和2年度上半期											
水産分野	<p>1 水産資源の回復・生産量UP【P.15】</p> <p>(1) 天然水産資源の回復・増殖【水AP1~2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培環境（水温・塩分）、アユ冷水病、アユ仔魚等の調査を継続、アユの漁場整備等を継続 <p>(2) 栽培漁業等の推進【水AP3~5】</p> <ul style="list-style-type: none"> 種苗放流の継続（アユ、うなぎ、アメゴ） <p>(3) 地域に根差した資源管理の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> テナガエビ類の禁漁（9月~3月）継続、禁漁期間の周知 <p>2 水産物の加工・販売促進【P.16】</p> <p>(1) 販売力の強化と販路拡大【水AP11~12】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活アユの豊洲市場出荷、四万十鮎ブランド化の取り組みを継続 <p>3 水産資源を活用した交流の拡大【P.16】</p> <p>(1) 体験教室等の開催【水AP15】</p> <ul style="list-style-type: none"> 川漁体験、四万十川ガキ体験、水辺の楽校、親子川漁体験の実施 	<p>水辺の楽校</p>  										
	<p>内水面・海面漁業漁獲量</p>  <p>内水面漁業漁獲量 R6目標: 50 t 以上 海面漁業漁獲量 R6目標: 15 t 以上</p> <p>あゆ・うなぎ漁獲量推移</p>  <p>藻類漁獲量の推移</p> 											
商工業分野	<p>1 顧客に選ばれる商工業の振興【P.17】</p> <p>(1) 地域を拠点とした食の発信【商AP7】</p> <ul style="list-style-type: none"> BBQジャンボリーしまんとの開催（リバーベキュープロジェクト） <p>2 中心市街地・商店街等の活性化【P.17】</p> <p>(1) 回遊性と集客力向上のための拠点づくり【商AP10】</p> <ul style="list-style-type: none"> Shimanto+Terrace はれのばオープン（4/1） 地域おこし協力隊配置（中心市街地の回遊性向上、情報発信等） 文化複合施設整備事業（中央公民館、働く婦人の家解体） <p>3 中山間地域の商業機能の確保【P.19】</p> <p>(1) 小さな（田舎）ビジネスの推進【商AP16~18】</p> <ul style="list-style-type: none"> リバーベキュープロジェクトで地域をHPでPR 四万十牛本舗移転工事（6月~） <p>4 企業誘致【P.19】</p> <p>(1) 情報通信関連産業の誘致促進【商AP19~21】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県と連携した企業訪問等を継続 	<p>Shimanto+Terrace はれのば</p> 										
	<p>卸売・小売業年間商品販売額と製造品出荷額等</p>  <p>小売・卸売業年間商品販売額 R6目標: 750 億円以上 製造品出荷額等 R6目標: 160 億円以上</p> <p>道の駅よって西土佐売上額及びレジ通過者数</p> 											
観光分野	<p>1 滞在型の観光地づくり【P.20】</p> <p>(1) 地域の観光資源、フィールドを活かした滞在型の観光商品づくり【観AP1~4】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光動向調査を継続（市観光協会窓口、佐田沈下橋周辺など） リバーベキュープロジェクトによる食のPR（BBQコンテスト、ジャッジ講習会、BBQ検定）、観光メニューの造成 <p>(2) 広域連携による周遊観光の推進【観AP5】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幡多広域観光協議会による商談やモニターツアーの実施 新型コロナ対策のクーポン券発行（市内3,977泊×5,000円） <p>2 観光商品の外商の推進【P.20】</p> <p>(1) 観光商品のセールス及び情報発信の強化【観AP6~7】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商談会、旅行会社訪問、セールス活動、イベント出展（市観光協会、幡多広域観光協議会など） デジタルパンフレットの作成、Instagramやフェイスブックでの情報発信 リョーマの休日~自然&体験キャンペーン~と連携したPR活動等 <p>3 おもてなしの向上【P.20】</p> <p>(1) おもてなし環境の整備【観AP8~10】</p> <ul style="list-style-type: none"> 四万十ひろばカヌー館オートキャンプ場オープン（4/20） 2次交通（川バスなど）の継続運行、インバウンド用バスパス発行 <p>4 組織力の強化と観光リーダーの発掘・育成【P.21】</p> <p>(1) 観光人材の育成、確保【観AP15~16】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光ガイドミーティング、研修会、勉強会などを実施 	<p>BBQ JAMBOREE SHIMANTO 2020</p>  <p>BBQジャンボリーしまんと</p>										
	<p>観光入込客・市内宿泊者数</p>  <p>観光入込客数 R6目標: 130 万人以上 市内宿泊者数 R6目標: 25 万人以上</p> <p>観光案内所案内者数（市観光協会）</p>  <p>●お盆シーズンの観光客数（市観光協会）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>市観光協会窓口 (8/11~8/16)</th> <th>佐田沈下橋 (8/11~8/16)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1年度</td> <td>279人</td> <td>3,751人</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>273人</td> <td>4,067人</td> </tr> <tr> <td>前年対比</td> <td>98%</td> <td>108%</td> </tr> </tbody> </table>		市観光協会窓口 (8/11~8/16)	佐田沈下橋 (8/11~8/16)	R1年度	279人	3,751人	R2年度	273人	4,067人	前年対比	98%
	市観光協会窓口 (8/11~8/16)	佐田沈下橋 (8/11~8/16)										
R1年度	279人	3,751人										
R2年度	273人	4,067人										
前年対比	98%	108%										

5 KPIの追加等について

●平成31年度（令和元年度）第3回四万十市産業振興計画フォローアップ委員会（書面会議）の意見内容と対応

修正意見の内容	意見への対応
<p>目標値はもっと定量的なものを設定できないか。特に観光。 商品造成数、外国人受入店舗数、観光学習の数、通行手形、キャッシュレスの対応など。 P.122は幡多広域と協議すれば広域のKPIなどあるのではないか。</p>	<p>ご意見どおり、進捗管理を行ううえでは定量的な目標の方がわかりやすいと考えますが、KPIの設定は、国の地方創生事業と関連しているものや広域観光のKPIは、幡多広域観光協議会において「幡多広域観光振興計画」（令和2年度～令和7年度）を策定中であり、現在最終調整中です。 そのため、すぐに目標指標の設定（変更）がしづらい状況にあることと産業振興計画の策定までの時間がないため、対応として令和2年度からのフォローアップの中でKPIの追加等について協議をしていきます。</p>

●観光分野のKPIの追加案

No	評価指標	基準値	目標値（R6）	H30	H31（R1）	R2	指標の追加について
1	教育旅行受入家庭数	49軒（H29）	65軒	50軒	48軒	52軒	観光分野では教育旅行の誘致にも力を入れており、自然体験型（民泊など）の受入など特色を活かしたものにしている。近年、関西圏などでは受入規模が大きくなる傾向があり、受入家庭を増やしていくことで教育旅行の誘致を推進するもの。
2	広域におけるはた旅体験商品利用者数	20,269人（H30）	24,200人	20,269人	29,793人		観光商品の造成等は、単独自治体で行うには、対応する人員や商品の種類に限界があるため、幡多地域で観光商品「はた旅」の造成等を行っている。（幡多広域観光協議会）その利用者数の推移により状況把握し、観光誘客の増加につなげる
3	広域におけるはた旅体験商品数	101（H30）	100商品/年	101	104		観光客のニーズは多様化しているため、観光商品の種類も増加傾向にある。観光ニーズを見極め、はた旅の造成や改善等を行いながら、年間100以上の商品数をキープすることにより観光誘客の増加につなげる。

●その他の分野について

別添【資料3】四万十市産業振興計画KPI一覧（Ver.1）

【資料4】四万十市産業振興計画KPI一覧（Ver.2） 参照

●産業振興計画Ver.2のKPI数値の訂正について

正誤表

評価指標	正	誤	備考
有機農業等総合対策支援事業実施面積	○H30：6.0ha	×H30：6.7ha	産業振興計画Ver.2のP.76の中部に記載
住宅耐震化率	○H30：69.8%	×H30：69.7%	産業振興計画Ver.2のP.110の下部に記載
公設観光施設等利用者数	○H30：162,247人	×H30：143,785人	産業振興計画Ver.2のP.126の上部に記載